

エレベーターの保守点検は適切に行われていますか？

オーナー様からのご依頼により調査します！ 

エレベーターは、定期的に保守点検を行い、適切に維持管理しなければ不具合や故障が起こる可能性が高くなります。維持管理が関係する重大事故を未然に防ぐためにも保守点検を適切に行なうことが極めて重要です。

インスペクション業務を実施しています

一般財団法人日本建築設備・昇降機センターでは、エレベーターの保守点検の現場に専門の調査員が立ち会い、保守点検が適切に実施されているかを調査する「インスペクション業務」を行っています。



Case1

かご内通話装置の故障、停電灯のバッテリー切れを発見！



通常運転時には発見できない不具合であり、緊急時にのみ発生する不具合を未然に防止しました。

Case2

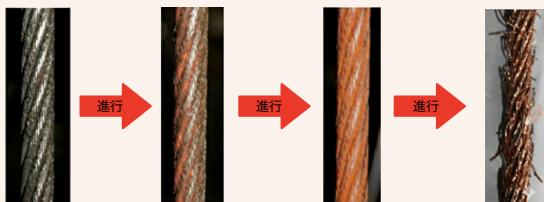
扉の点検時、正式な解錠キーを使用していなかった。



正式な解錠キーを使用せず、代用の工具等で無理に解錠するとロック部分が破損し開かなくなる可能性があることを指摘しました。

Case3

重要な強度部品である主ロープの錆を発見！



主ロープの劣化が進行した例

ロープ破断に至る兆候であり、重大な事故を未然に防止することの一助になりました。

無料相談はこちら

一般財団法人 日本建築設備・昇降機センター（BEEC）
東京都港区西新橋 1-15-5 内幸町ケイズビル 4 階
TEL : 03-3591-2427 E-mail : kikaku@beec.or.jp
ホームページ URL : <https://www.beec.or.jp/>

詳しくはこちら



インスペクション業務に関する よくある質問

Q1 「インスペクション業務」とは何ですか。

- A.** 昇降機に関する豊富な知識を有する調査員が、中立的な立場から保守点検業務の実施状況を確認することで、適切な業務の執行を担保するとともに、保守業者等に更なる緊張感を保持していただくことが期待できます。なお、保守業者等の技術力の評価を行ったり、発見した問題点の解決のために専門家として仲介やアドバイス等をするわけではありませんのでご留意ください。

Q2 現場に派遣される調査員は資格や技術が備わっているのですか。

- A.** 調査員は「昇降機等検査員」の国家資格を有するとともに、大手エレベーターメーカーや保守会社で実績を積んだ、経験豊富な技術者を派遣しますので、安心してお任せください。

Q3 法定検査や日常の保守点検を実施していれば問題ありませんか。

- A.** 法定検査や日常の保守点検は当然重要ですが、その点検等の内容や実施状況が適切であるかを第三者の視点で確認することも、事故防止に有効です。

インスペクション業務の流れ

1 ご相談・お問い合わせ（無料相談）»

▶ 昇降機の所有者又は管理者様からのご相談

2 調査内容・日程の調整»

▶ 直近の保守点検・法定検査の実施状況を踏まえて調整

3 専門調査員による現地調査»

▶ 点検の内容・実施状況の確認

4 調査結果の評価・ご報告»

▶ 調査結果を報告書にまとめ分かりやすくご説明いたします。



事故事例
(国土交通省 HP)

